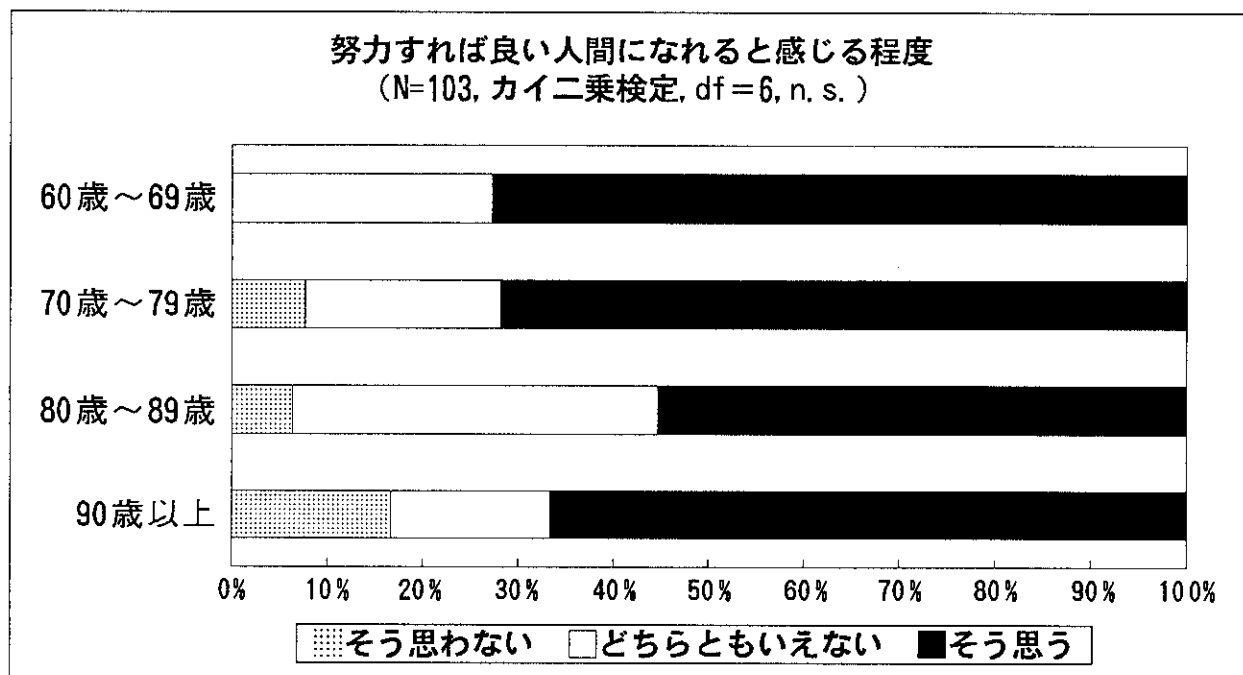


## G-25. 努力すれば良い人間になれると感じる程度

努力すれば良い人間になれると思いますかと尋ねたところ、全体として「そう思う」が64.5%で半数を超えており、次に「どちらともいえない」が29.0%、「そう思わない」が6.5%であった。

年齢層別にみると、図に示すように、60歳以上70歳未満では「そう思う」が72.7%で半数を超えており、次に「どちらともいえない」が27.3%であった。70歳以上80歳未満では「そう思う」が71.8%で半数を超えており、次に「どちらともいえない」が20.5%、「そう思わない」が7.7%であった。80歳以上90歳未満では「そう思う」が55.3%で半数を超えており、次に「どちらともいえない」が38.3%、「そう思わない」が6.4%であった。90歳以上では「そう思う」が66.7%で半数を超えており、次に「どちらともいえない」が16.7%、「そう思わない」が16.7%であった。

努力すれば良い人間になれると感じる程度についての年齢層間の比較では、全年齢層を通して「そう思う」と回答する割合が高い傾向が見られた。さらに、この傾向は60歳以上70歳未満、70歳以上80歳未満の年齢層について顕著に見られた。

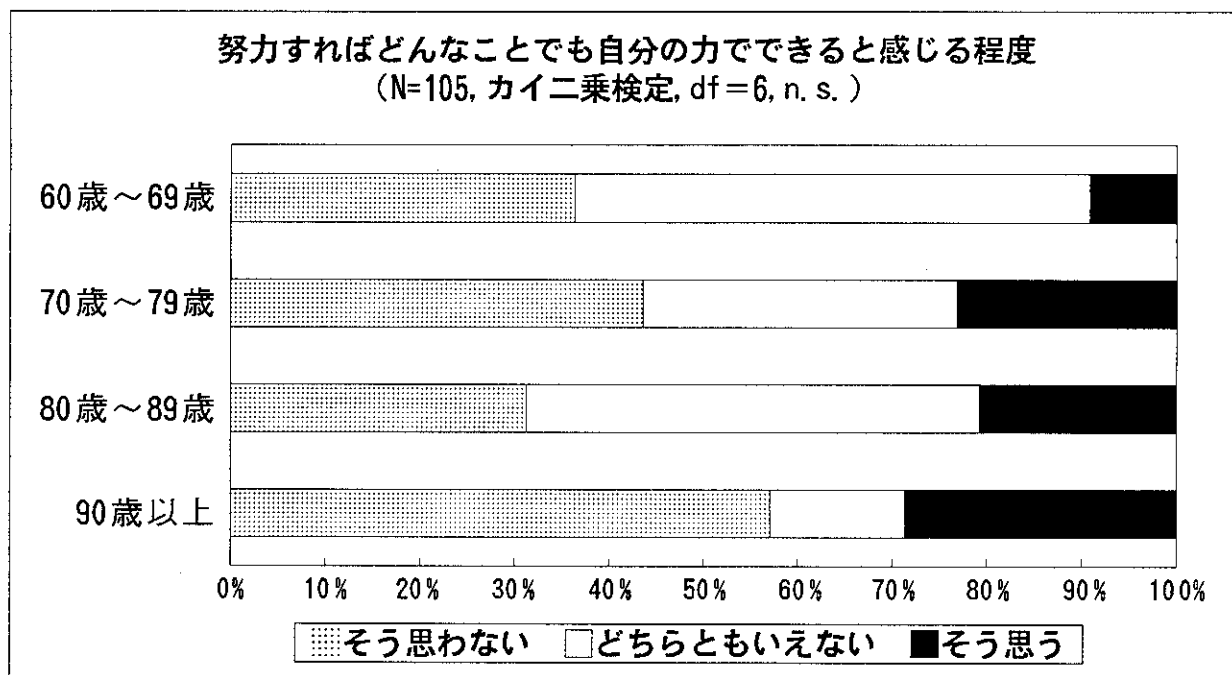


G-26. 努力すればどんなことでも自分の力でできると感じる程度

努力すればどんなことでも自分の力でできると思いますかと尋ねたところ、全体として「そう思わない」、「どちらともいえない」がともに39.4%で並び、次に「そう思う」が21.1%であった。

年齢層別にみると、図に示すように、60歳以上70歳未満では「どちらともいえない」が54.5%で半数を超えており、次に「そう思わない」が36.4%、「そう思う」が9.1%であった。70歳以上80歳未満では「そう思わない」が43.6%で最も高く、次に「どちらともいえない」が33.3%、「そう思う」が23.1%であった。80歳以上90歳未満では「どちらともいえない」が47.9%で最も高く、次に「そう思わない」が31.3%、「そう思う」が20.8%であった。90歳以上では「そう思わない」が57.1%で半数を超えており、次に「そう思う」が28.6%、「どちらともいえない」が14.3%であった。

努力すればどんなことでも自分の力でできると感じる程度についての年齢層間の比較では、全年齢層を通して「そう思わない」と回答する割合が高い傾向が見られた。

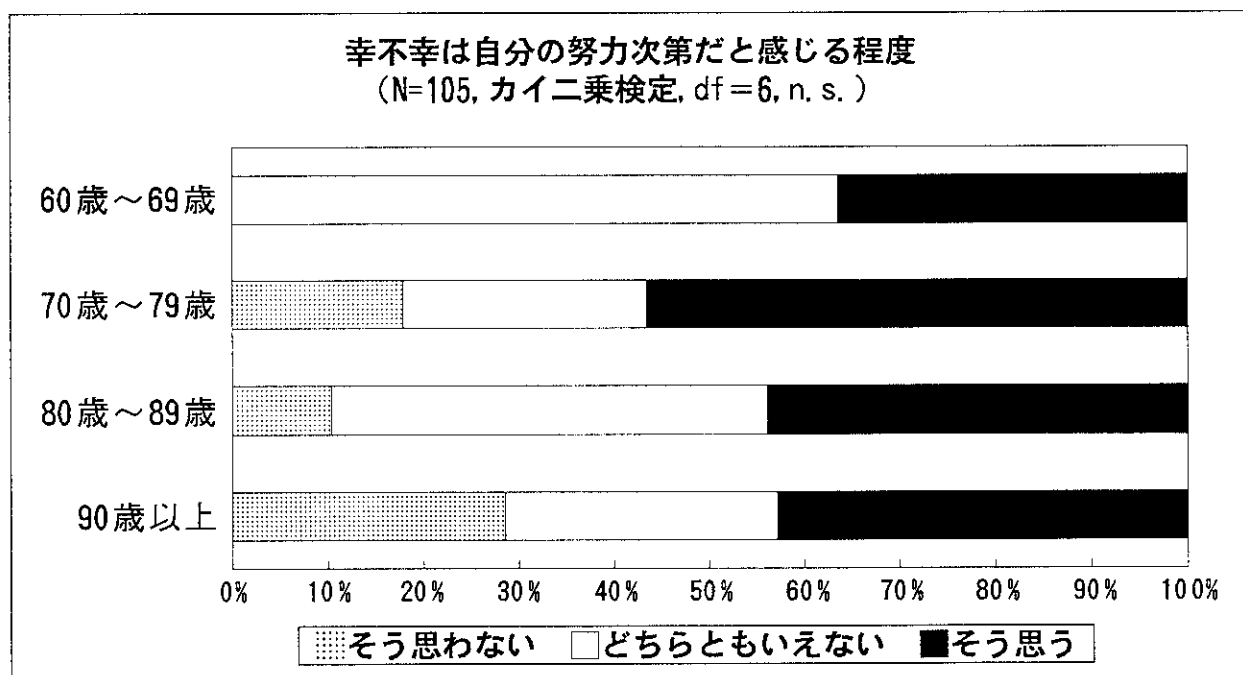


## G-27. 幸不幸は自分の努力次第だと感じる程度

幸不幸は自分の努力次第だと思いますかと尋ねたところ、全体として「そう思う」が45.9%で最も高く、次に「どちらともいえない」が39.4%、「そう思わない」が14.7%であった。

年齢層別にみると、図に示すように、60歳以上70歳未満では「どちらともいえない」が63.6%で半数を超えており、次に「そう思う」が36.4%であった。70歳以上80歳未満では「そう思う」が56.4%で半数を超えており、次に「どちらともいえない」が25.6%、「そう思わない」が17.9%であった。80歳以上90歳未満では「どちらともいえない」が45.8%で最も高く、次に「そう思う」が43.8%、「そう思わない」が10.4%であった。90歳以上では「そう思う」が42.9%で最も高く、次に「どちらともいえない」、「そう思わない」がともに28.6%であった。

幸不幸は自分の努力次第だと感じる程度についての年齢層間の比較では、全年齢層を通して「そう思う」と回答する割合が高い傾向が見られた。

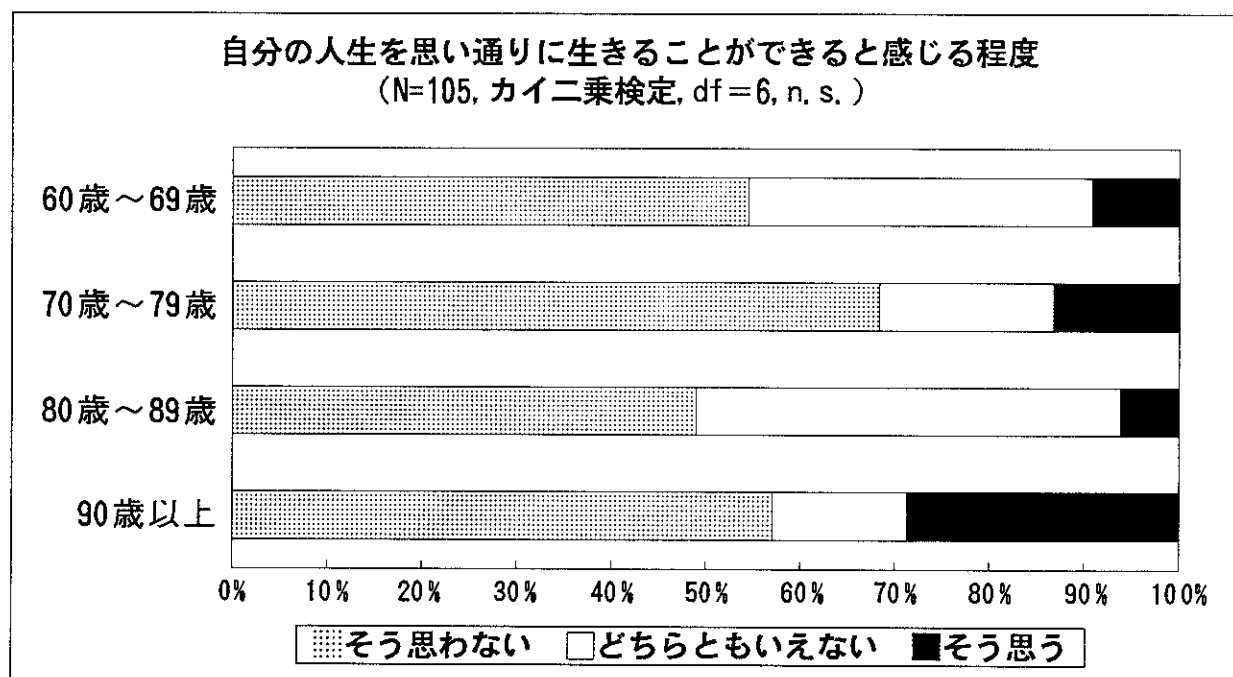


## G-28. 自分の人生を思い通りに生きることができると感じる程度

自分の人生を思い通りに生きることができると思いますかと尋ねたところ、全体として「そう思わない」が58.7%で半数を超えており、次に「どちらともいえない」が31.2%、「そう思う」が10.1%であった。

年齢層別にみると、図に示すように、60歳以上70歳未満では「そう思わない」が54.5%で半数を超えており、次に「どちらともいえない」が36.4%、「そう思う」が9.1%であった。70歳以上80歳未満では「そう思わない」が68.4%で半数を超えており、次に「どちらともいえない」が18.4%、「そう思う」が13.2%であった。80歳以上90歳未満では「そう思わない」が49.0%で最も高く、次に「どちらともいえない」が44.9%、「そう思う」が6.1%であった。90歳以上では「そう思わない」が57.1%で半数を超えており、次に「そう思う」が28.6%、「どちらともいえない」が14.3%であった。

自分の人生を思い通りに生きることができると感じる程度についての年齢層間の比較では、全年齢層を通して「そう思わない」と回答する傾向が高い傾向が見られた。



## IV－H 生活満足度（ケアハウス入居者）

### H－0 基本的視点

本章では、ケアハウス入居者の生活満足度について述べる。それぞれの項目ごとに全体的な傾向について記述し、さらに年齢階層別に比較分析をおこなう。本章では、生活を【対人関係】、【健康】、【心理的感情】、【経済】、【環境】、【サービス効果】、【生活全体に対する満足度】の側面から捉えることとした。

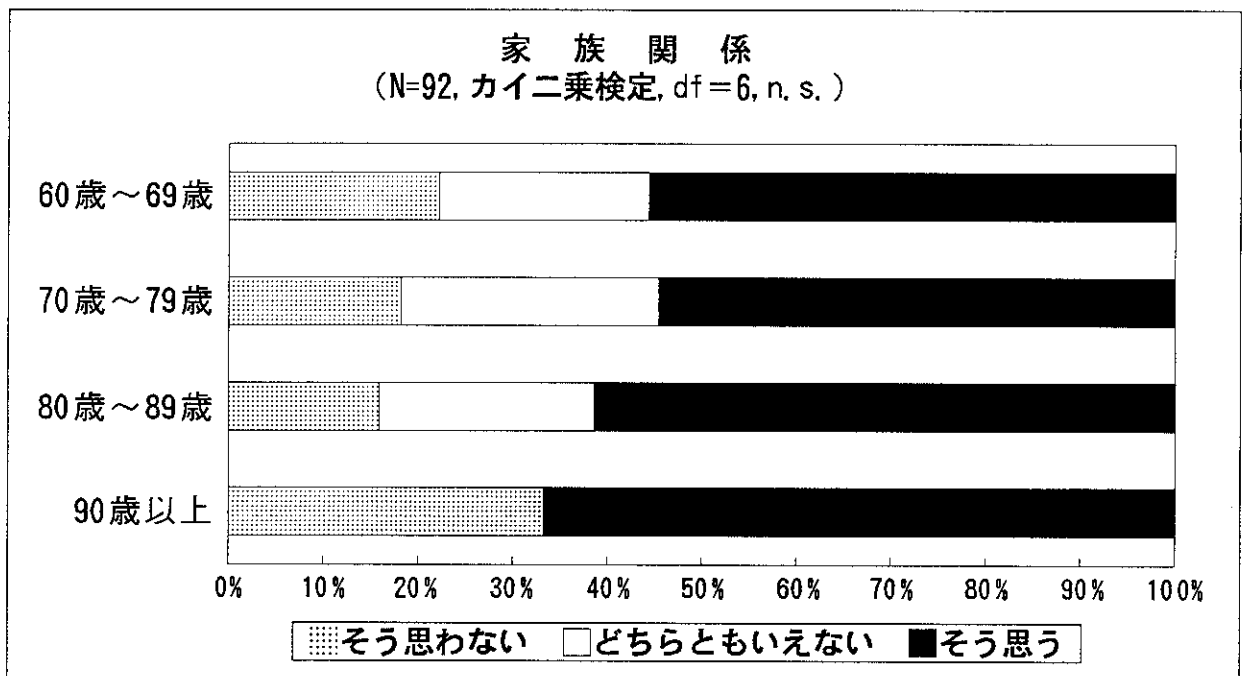
質問内容は、【対人関係】は「家族関係」「親戚とのつきあい」「友人とのつきあい」「施設職員との関係」、【健康】は「食欲」「睡眠」「病気予防」「将来の健康状態」、【心理的感情】は「現在の主観的幸福感」「人生に対する満足感」「加齢に対する意識」「頼りにできる人の存在」「頼られているという意識」、【経済】は「入所者個人の収入」「自由に使えるお金」「貯え・財産」「収入への不安」「世帯の収入」、【環境】は「住みやすさ」「風呂への配慮」「便所への配慮」「居住施設の環境」「外出のしやすさ」、【サービス効果】は「日常生活の主観的改善」「社会的側面の変化（機会）」「社会的側面の変化（介入）」「精神的側面の変化」「健康状態の主観的改善」、【生活全体に対する満足度】は「現在の生活全体に対する満足度」「これからの生活に対する不安」、についての計30項目である。各質問項目について「そう思わない」「どちらともいえない」「そう思う」の3段階の回答選択肢を用意し、ケアハウス入居者本人に尋ねた。

## H-1 家族関係

「ご家族との関係はうまくいっていると思うことは多いですか」という質問に対して、「そう思わない」「どちらともいえない」「そう思う」の3段階の回答選択肢を用意し、入居者に尋ねた。その結果、「そう思う」が58.7%で最も多く、次に「どちらともいえない」が22.8%、「そう思わない」が18.5%であった。

年齢階層別に入居者をみると、図のように、60～69歳では、「そう思う」と回答した入居者が55.6%を占め、次に「どちらともいえない」と「そう思わない」がそれぞれ22.2%であった。70～79歳では、「そう思う」と回答した入居者が54.5%を占め、次に「どちらともいえない」が27.3%、「そう思わない」が18.2%であった。80～89歳では、「そう思う」と回答した入居者が61.4%を占め、次に「どちらともいえない」が22.7%、「そう思わない」が15.9%であった。90歳以上では、「そう思う」と回答した入居者が66.7%を占め、次に「そう思わない」が33.3%、「どちらともいえない」が0%であった。

家族関係について、60～69歳と70～79歳では5割以上、80～89歳と90歳以上では6割以上の入居者が、「家族との関係はうまくいっていると思うことが多い」と肯定的に回答している。

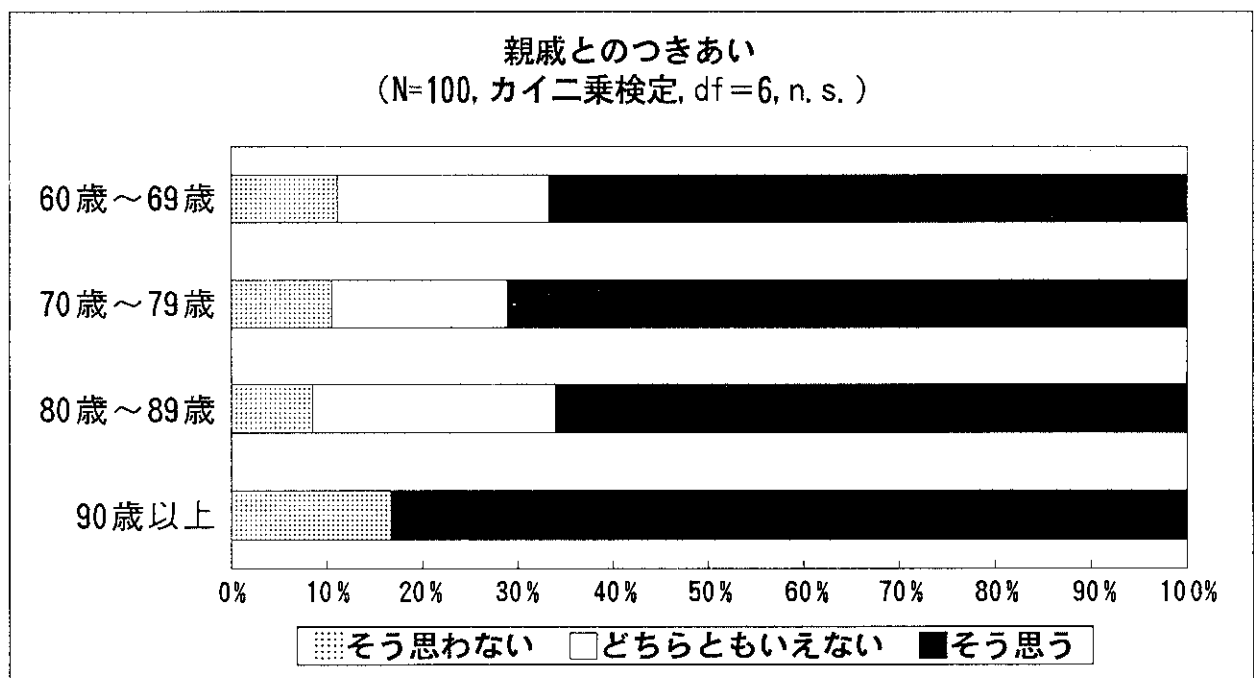


## H-2 親戚とのつきあい

「ご親戚とのつきあいはうまくいっていると思うことは多いですか」という質問に対して、「そう思わない」「どちらともいえない」「そう思う」の3段階の回答選択肢を用意し、入居者に尋ねた。その結果、「そう思う」が69.0%で最も多く、次に「どちらともいえない」が21.0%、「そう思わない」が10.0%であった。

年齢階層別に入居者をみると、図のように、60～69歳では、「そう思う」と回答した入居者が66.7%を占め、次に「どちらともいえない」が22.2%、「そう思わない」が11.1%であった。70～79歳では、「そう思う」と回答した入居者が71.1%を占め、次に「どちらともいえない」が18.4%、「そう思わない」が10.5%であった。80～89歳では、「そう思う」と回答した入居者が66.0%を占め、次に「どちらともいえない」が25.5%、「そう思わない」が8.5%であった。90歳以上では、「そう思う」と回答した入居者が83.3%を占め、次に「そう思わない」が16.7%、「どちらともいえない」が0%であった。

親戚とのつきあいについて、60～69歳と80～89歳では6割以上、70～79歳では7割以上、90歳以上では8割以上の入居者が、「親戚とのつきあいはうまくいっていると思うことが多い」と肯定的に回答している。

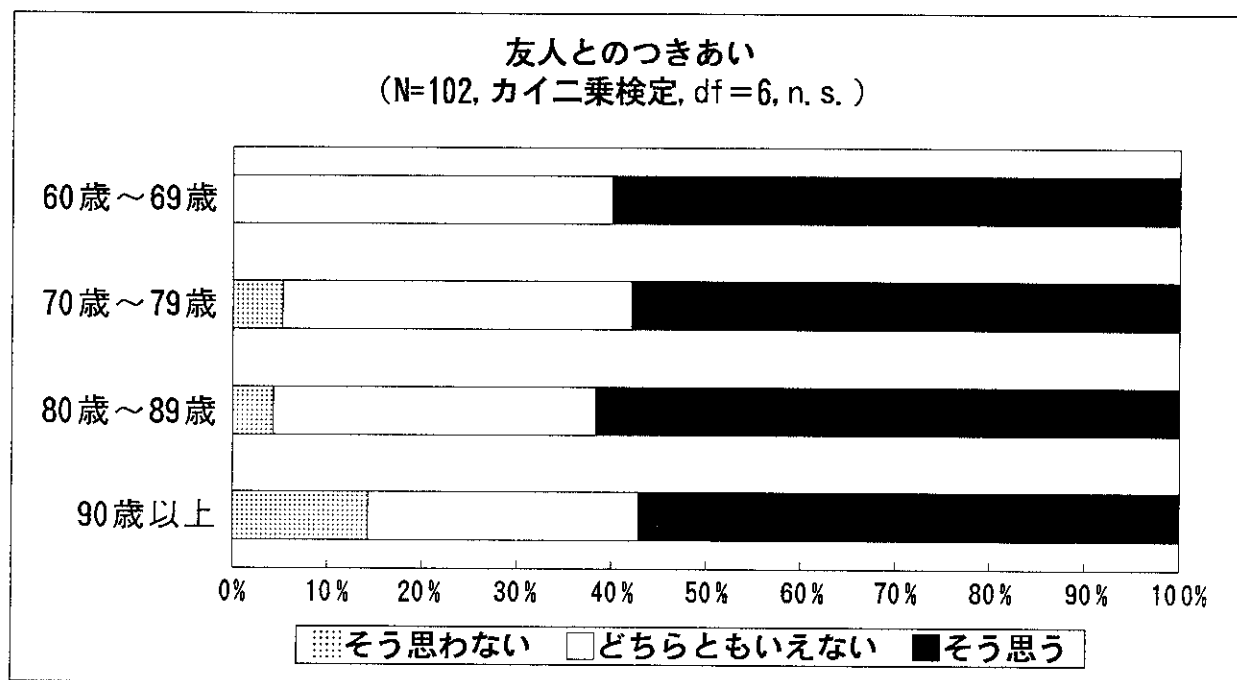


### H-3 友人とのつきあい

「友人とのつきあいはうまくいっていると思うことは多いですか」という質問に対して、「そう思わない」「どちらともいえない」「そう思う」の3段階の回答選択肢を用意し、入居者に尋ねた。その結果、「そう思う」が59.8%で最も多く、次に「どちらともいえない」が35.3%、「そう思わない」が4.9%であった。

年齢階層別に入居者をみると、60～69歳では、「そう思う」と回答した入所者が60.0%を占め、次に「どちらともいえない」が40.0%、「そう思わない」が0%であった。70～79歳では、「そう思う」と回答した入居者が57.9%を占め、次に「どちらともいえない」が36.8%、「そう思わない」が5.3%であった。80～89歳では、「そう思う」と回答した入居者が61.7%を占め、次に「どちらともいえない」が34.0%、「そう思わない」が4.3%であった。90歳以上では、「そう思う」と回答した入居者が57.1%を占め、次に「どちらともいえない」が28.6%、「そう思わない」が14.3%であった。

友人とのつきあいについて、70～79歳と90歳以上では5割以上、60～69歳と80～89歳では6割以上の入居者が、「友人とのつきあいはうまくいっていると思うことは多い」と肯定的に回答している。

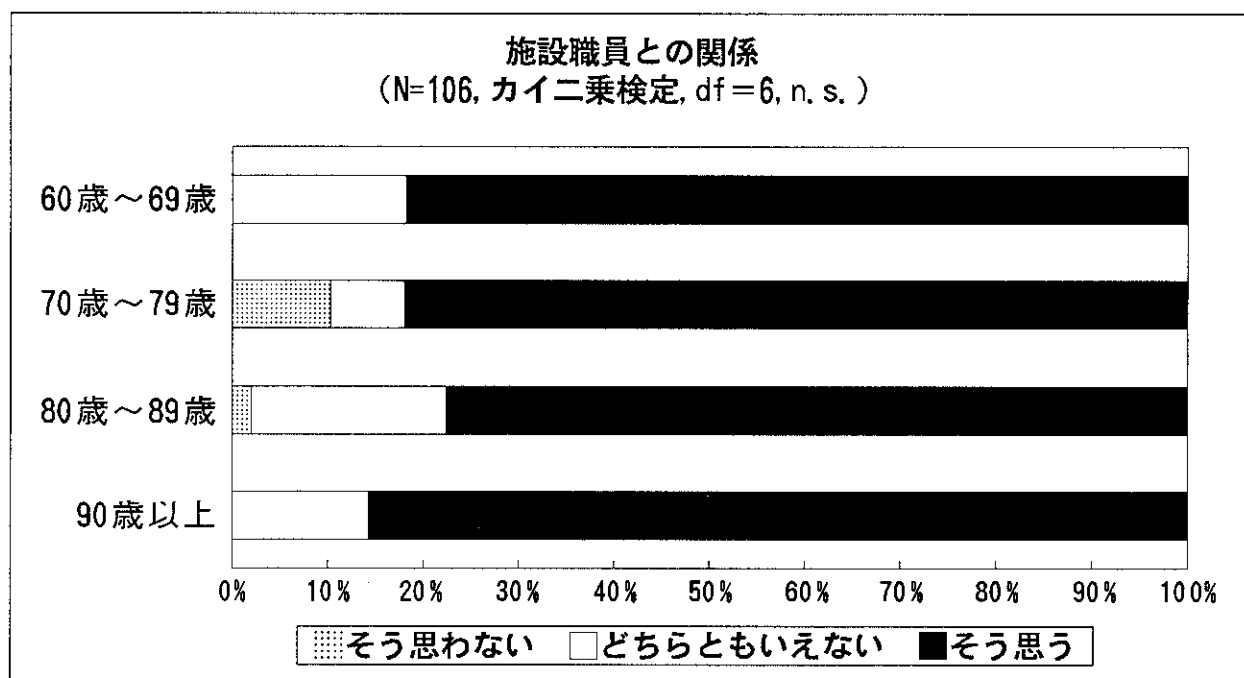


#### H-4 施設職員との関係

「施設職員との関係はうまくいっていると思うことは多いですか」という質問に対して、「そう思わない」「どちらともいえない」「そう思う」の3段階の回答選択肢を用意し、入居者に尋ねた。その結果、「そう思う」が80.2%で最も多く、次に「どちらともいえない」が15.1%、「そう思わない」が4.7%であった。

年齢階層別に入居者をみると、図のように、60～69歳では、「そう思う」と回答した入居者が81.8%を占め、次に「どちらともいえない」が18.2%、「そう思わない」が0%であった。70～79歳では、「そう思う」と回答した入居者が82.1%を占め、次に「そう思わない」が10.3%、「どちらともいえない」が7.7%であった。80～89歳では、「そう思う」と回答した入居者が77.6%を占め、次に「どちらともいえない」が20.4%、「そう思わない」が2.0%であった。90歳以上では、「そう思う」と回答した入居者が85.7%を占め、次に「どちらともいえない」が14.3%、「そう思わない」が0%であった。

施設職員との関係について、80～89歳では7割以上、60～69歳、70～79歳、90歳以上では8割以上の入居者が、「施設職員との関係はうまくいっていると思うことは多い」と肯定的に回答している。

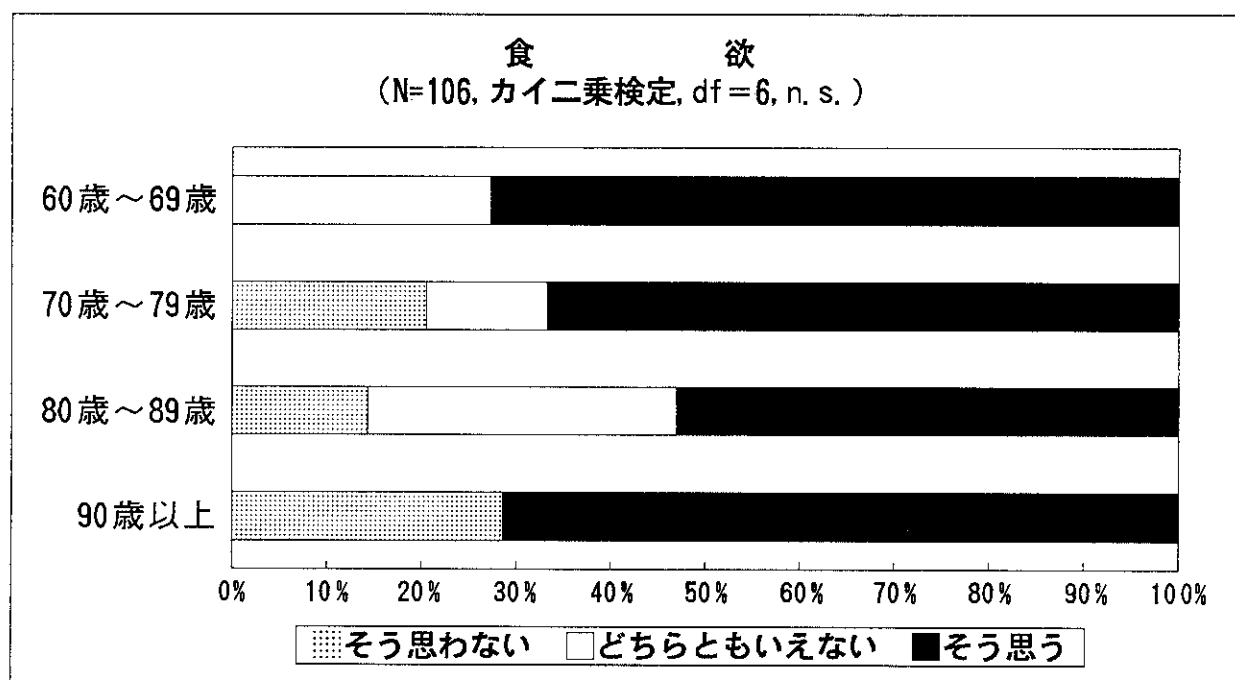


## H-5 食 欲

「食欲はあると思いますか」という質問に対して、「そう思わない」「どちらともいえない」「そう思う」の3段階の回答選択肢を用意し、入居者に尋ねた。その結果、「そう思う」が61.3%で最も多く、次に「どちらともいえない」が22.6%、「そう思わない」が16.0%であった。

年齢階層別に入居者をみると、図のように、60～69歳では、「そう思う」と回答した入居者が72.7%を占め、次に「どちらともいえない」が27.3%、「そう思わない」が0%であった。70～79歳では、「そう思う」と回答した入居者が66.7%を占め、次に「そう思わない」が20.5%、「どちらともいえない」が12.8%であった。80～89歳では、「そう思う」と回答した入居者が53.1%を占め、次に「どちらともいえない」が32.7%、「そう思わない」が14.3%であった。90歳以上では、「そう思う」と回答した入居者が71.4%を占め、次に「そう思わない」が28.6%、「どちらともいえない」が0%であった。

食欲について、80～89歳では5割以上、70～79歳では6割以上、60～69歳と90歳以上では7割以上の入居者が、「食欲はあると思う」と肯定的に回答している。

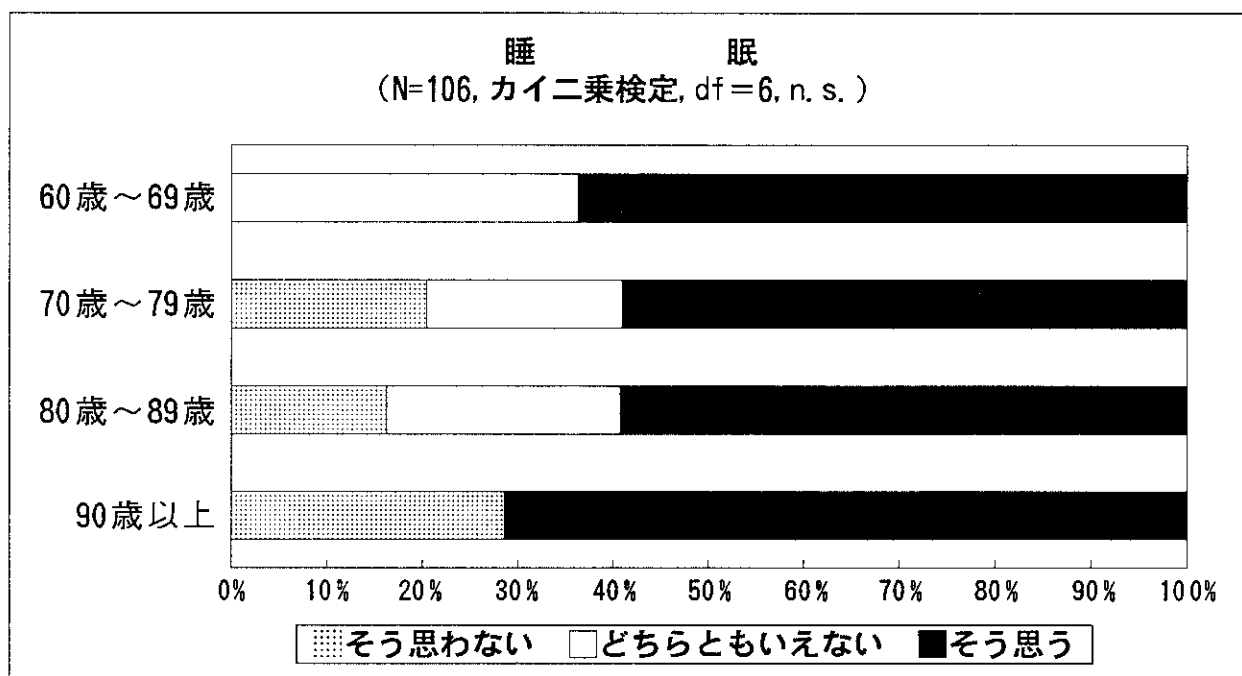


## H-6 睡眠

「睡眠は十分にとれていると思いますか」という質問に対して、「そう思わない」「どちらともいえない」「そう思う」の3段階の回答選択肢を用意し、入居者に尋ねた。その結果、「そう思う」が60.4%で最も多く、次に「どちらともいえない」が22.6%、「そう思わない」が17.0%であった。

年齢階層別に入居者をみると、図のように、60～69歳では、「そう思う」と回答した入居者が63.6%を占め、次に「どちらともいえない」が36.4%、「そう思わない」が0%であった。70～79歳では、「そう思う」と回答した入居者が59.0%を占め、次に「どちらともいえない」と「そう思わない」がそれぞれ20.5%であった。80～89歳では、「そう思う」と回答した入居者が59.2%を占め、次に「どちらともいえない」が24.5%、「そう思わない」が16.3%であった。90歳以上では、「そう思う」と回答した入居者が71.4%を占め、次に「そう思わない」が28.6%、「どちらともいえない」が0%であった。

睡眠について、70～79歳と80～89歳では5割以上、60～69歳では6割以上、90歳以上では7割以上の入居者が、「睡眠は十分にとれていると思う」と肯定的に回答している。

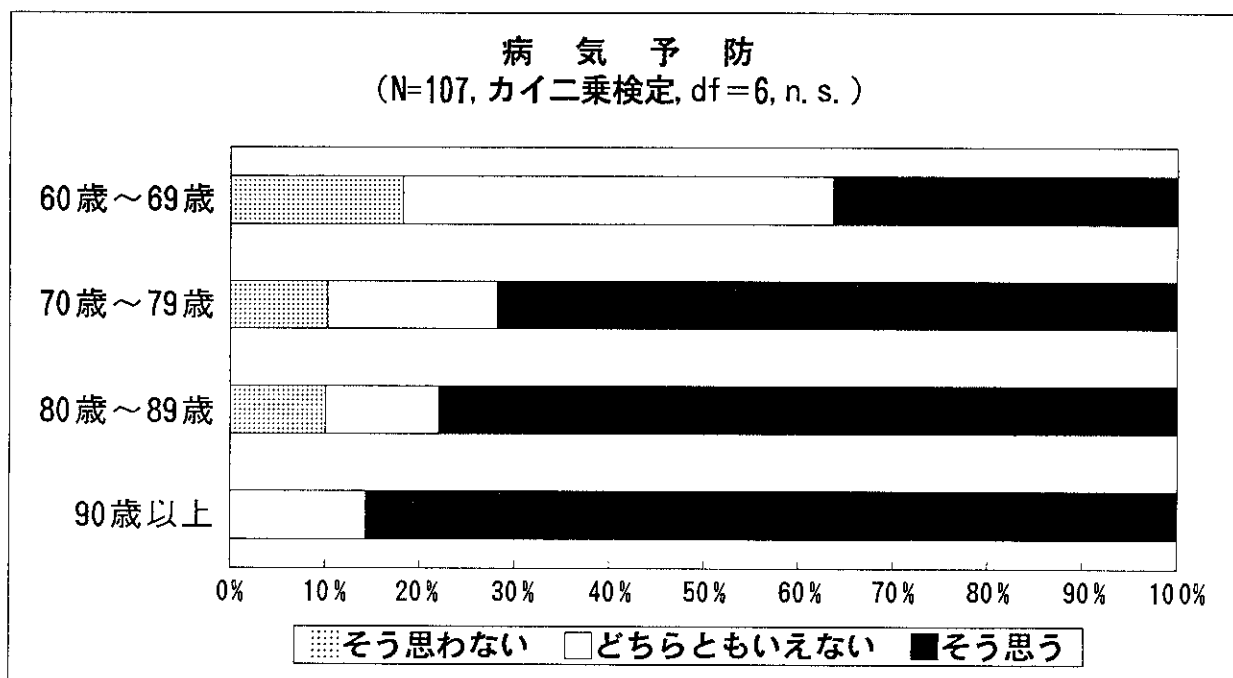


## H-7 病気予防

「普段から病気の予防を心がけていると思いますか」という質問に対して、「そう思わない」「どちらともいえない」「そう思う」の3段階の回答選択肢を用意し、入居者に尋ねた。その結果、「そう思う」が72.0%で最も多く、次に「どちらともいえない」が17.8%、「そう思わない」が10.3%であった。

年齢階層別に入居者をみると、図のように、60～69歳では、「どちらともいえない」と回答した入居者が45.5%を占め、次に「そう思う」が36.4%、「そう思わない」が18.2%であった。70～79歳では、「そう思う」と回答した入居者が71.8%を占め、次に「どちらともいえない」が17.9%、「そう思わない」が10.3%であった。80～89歳では、「そう思う」と回答した入居者が78.0%を占め、次に「どちらともいえない」が12.0%、「そう思わない」が10.0%であった。90歳以上では、「そう思う」と回答した入居者が85.7%を占め、次に「どちらともいえない」が14.3%、「そう思わない」が0%であった。

病気予防について、70～79歳と80～89歳では7割以上、90歳以上では8割以上の入居者が「普段から病気の予防を心がけていると思う」と肯定的に回答しており、年齢層が高くなるにつれて肯定的に回答する傾向にあることがうかがえる。

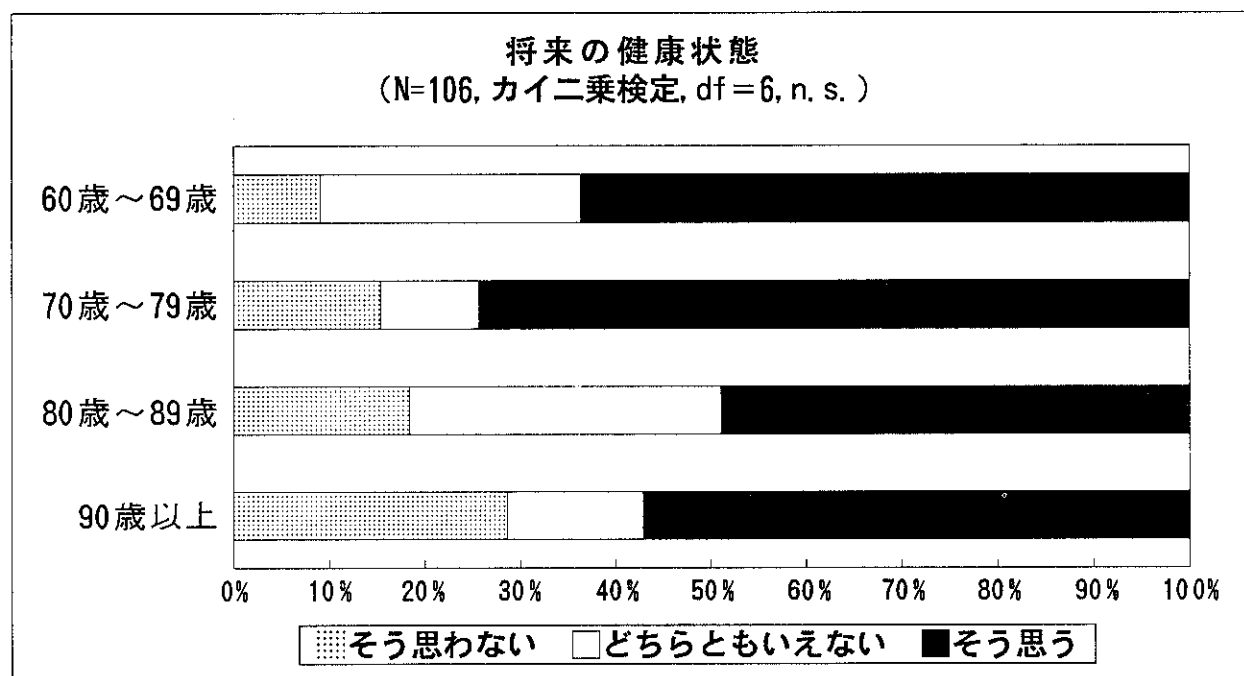


## H-8 将来の健康状態

「これからの健康状態について、何か不安がありますか」という質問に対して、「そう思わない」「どちらともいえない」「そう思う」の3段階の回答選択肢を用意し、入居者に尋ねた。その結果、「そう思う」が60.4%で最も多く、次に「どちらともいえない」が22.6%、「そう思わない」が17.0%であった。

年齢階層別に入居者をみると、図のように、60～69歳では、「そう思う」と回答した入居者が63.6%を占め、次に「どちらともいえない」が27.3%、「そう思わない」が9.1%であった。70～79歳では、「そう思う」と回答した入居者が74.4%を占め、次に、「そう思わない」が15.4%、「どちらともいえない」が10.3%であった。80～89歳では、「そう思う」と回答した入居者が49.0%を占め、次に「どちらともいえない」が32.7%、「そう思わない」が18.4%であった。90歳以上では、「そう思う」と回答した入居者が57.1%を占め、次に「そう思わない」が28.6%、「どちらともいえない」が14.3%であった。

将来の健康状態について、80～89歳では半数近く、60～69歳、70～79歳、90歳以上では5割以上の入居者が、「これからの健康状態について、何か不安があると思う」と回答していることから、入居者の半数以上は、将来の健康状態について何らかの不安があると回答する傾向にあるということがうかがえる。

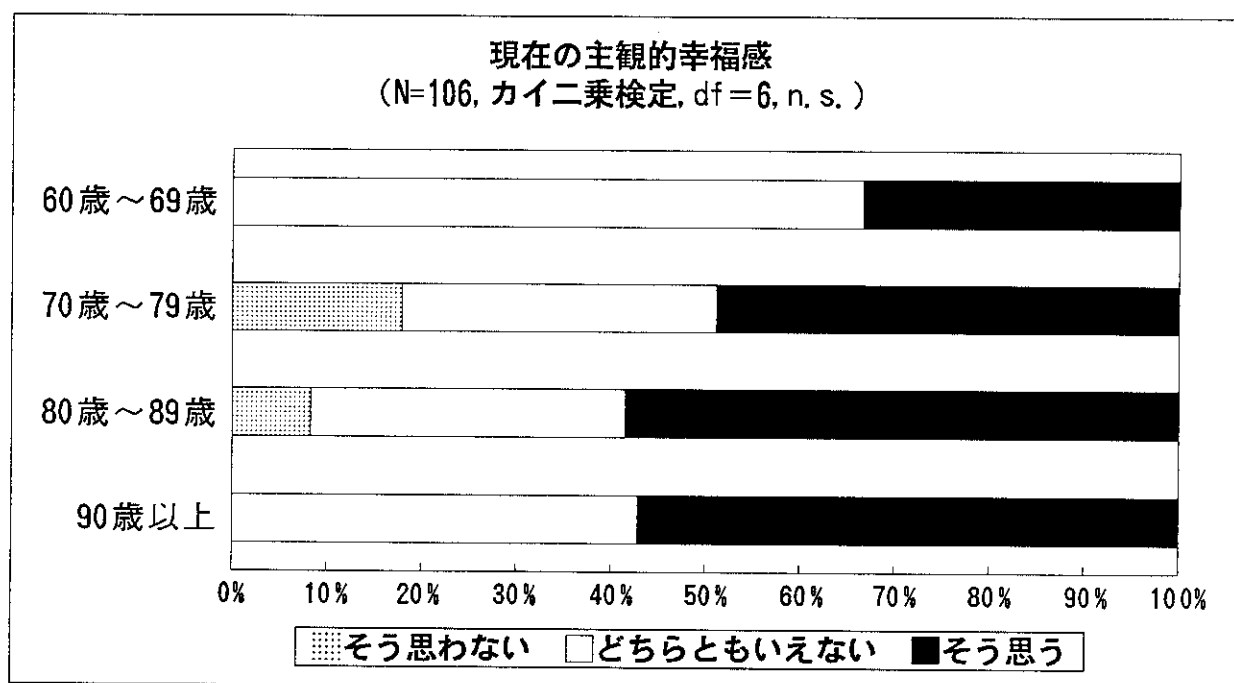


## H-9 現在の主観的幸福感

「あなたは今、幸せだと思いますか」という質問に対して、「そう思わない」「どちらともいえない」「そう思う」の3段階の回答選択肢を用意し、入居者に尋ねた。その結果、「そう思う」が51.9%で最も多く、次に「どちらともいえない」が37.7%、「そう思わない」が10.4%であった。

年齢階層別に入居者をみると、図のように、60～69歳では、「どちらともいえない」と回答した入居者が66.7%を占め、次に「そう思う」が33.3%、「そう思わない」が0%であった。70～79歳では、「そう思う」と回答した入居者が48.7%を占め、次に「どちらともいえない」が33.3%、「そう思わない」が17.9%であった。80～89歳では、「そう思う」と回答した入居者が58.3%を占め、次に「どちらともいえない」が33.3%、「そう思わない」が8.3%であった。90歳以上では、「そう思う」と回答した入居者が57.1%を占め、次に「どちらともいえない」が42.9%、「そう思わない」が0%であった。

現在の主観的幸福感について、80～89歳と90歳以上では5割以上の入居者が「今、幸せだと思う」と肯定的に回答しているが、60～69歳では3割程度、70～79歳では5割未満の入居者が「今、幸せだと思う」と回答するにとどまっている。

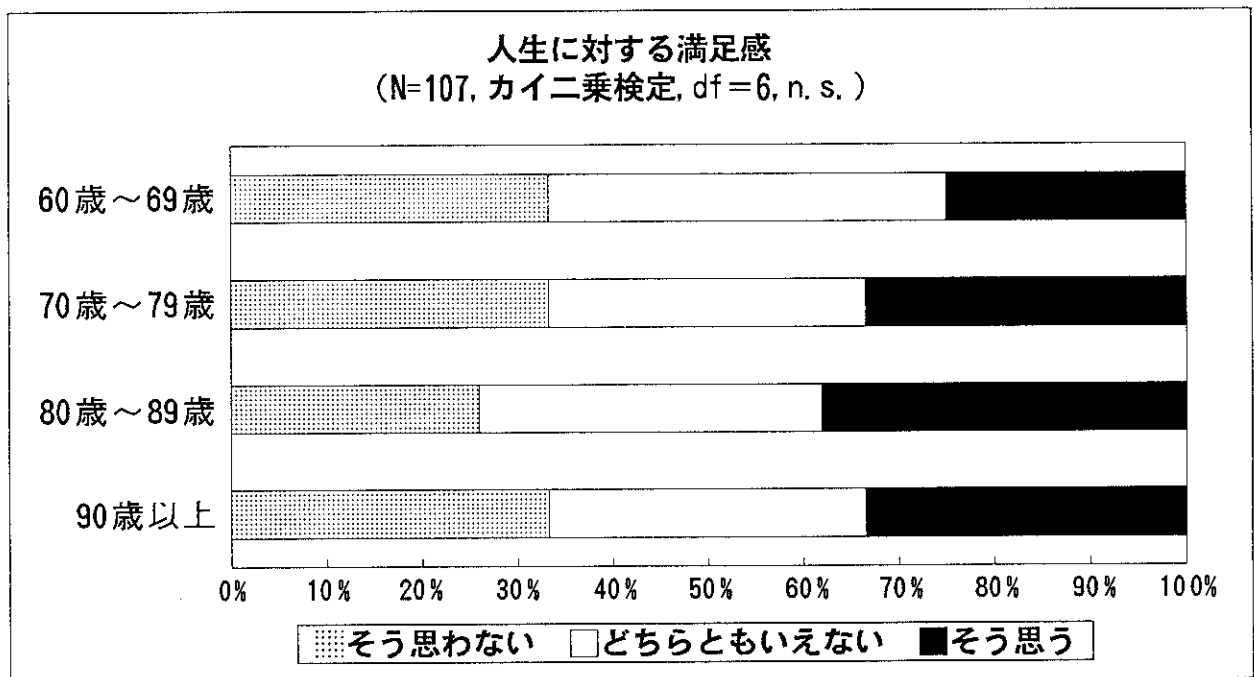


## H-10 人生に対する満足感

「あなたは人生を振り返ってみて、幸せだったと思いますか」という質問に対して、「そう思わない」「どちらともいえない」「そう思う」の3段階の回答選択肢を用意し、入居者に尋ねた。その結果、「どちらともいえない」が35.5%で最も多く、次に「そう思う」が34.6%、「そう思わない」が29.9%であった。

年齢階層別に入居者をみると、図のように、60～69歳では、「どちらともいえない」と回答した入居者が41.7%を占め、次に「そう思わない」が33.3%、「そう思う」が25.0%であった。70～79歳では、「そう思う」「どちらともいえない」「そう思わない」と回答した入居者はそれぞれ33.3%であった。80～89歳では、「そう思う」と回答した入居者が38.0%を占め、次に「どちらともいえない」が36.0%、「そう思わない」が26.0%であった。90歳以上では、「そう思う」「どちらともいえない」「そう思わない」と回答した入居者はそれぞれ33.3%であった。

人生に対する満足感について、各年齢層とも各選択肢を回答した入居者の割合がほぼ同じであったことから、回答傾向は類似していることがうかがえる。

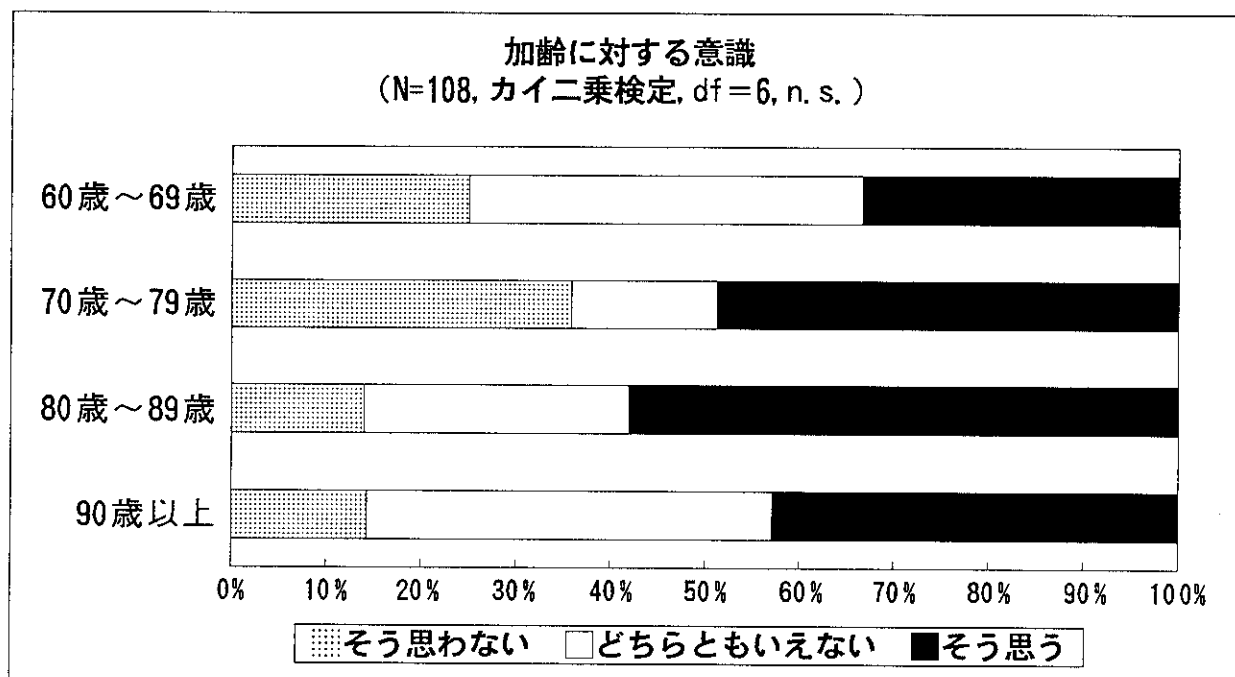


## H-11 加齢に対する意識

「年をとることは嫌なことだと思いますか」という質問項目に対して、「そう思わない」「どちらともいえない」「そう思う」の3段階の回答選択肢を用意し、入居者に尋ねた。その結果、「そう思う」が50.9%で最も多く、次に「どちらともいえない」が25.9%、「そう思わない」が23.1%であった。

年齢階層別に入居者をみると、図のように、60～69歳では、「どちらともいえない」と回答した入居者が41.7%を占め、次に「そう思う」が33.3%、「そう思わない」が25.0%であった。70～79歳では、「そう思う」と回答した入居者が48.7%を占め、次に「そう思わない」が35.9%、「どちらともいえない」が15.4%であった。80～89歳では、「そう思う」と回答した入居者が58.0%を占め、次に「どちらともいえない」が28.0%、「そう思わない」が14.0%であった。90歳以上では、「そう思う」「どちらともいえない」と回答した入居者がそれぞれ42.9%を占め、次に「そう思わない」が14.3%であった。

加齢に対する意識について、「年をとることは嫌なことだと思う」と回答した入居者の割合が4割を超えたのは、70～79歳、80～89歳、90歳以上であった。

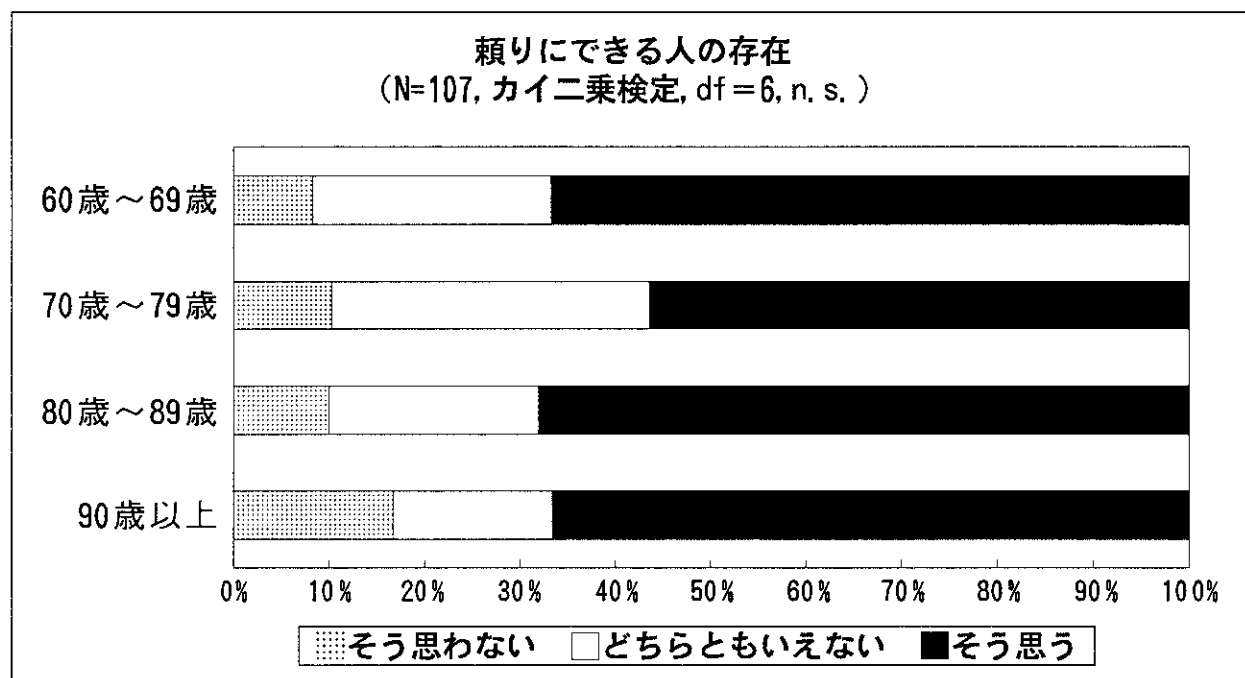


## H-12 頼りにできる人の存在

「頼りにできる人が身近にいると思いますか」という質問に対して、「そう思わない」「どちらともいえない」「そう思う」の3段階の回答選択肢を用意し、入居者に尋ねた。その結果、「そう思う」が63.6%で最も多く、次に「どちらともいえない」が26.2%、「そう思わない」が10.3%であった。

年齢階層別に入居者をみると、図のように、60～69歳では、「そう思う」と回答した入居者が66.7%を占め、次に「どちらともいえない」が25.0%、「そう思わない」が8.3%であった。70～79歳では、「そう思う」と回答した入居者が56.4%を占め、次に「どちらともいえない」が33.3%、「そう思わない」が10.3%であった。80～89歳では、「そう思う」と回答した入居者が68.0%を占め、次に「どちらともいえない」が22.0%、「そう思わない」が10.0%であった。90歳以上では、「そう思う」と回答した入居者が66.7%を占め、次に「どちらともいえない」と「そう思わない」がそれぞれ16.7%であった。

頼りにできる人の存在について、70～79歳では5割以上、60～69歳、80～89歳、90歳以上では6割以上の入居者が「頼りにできる人が身近にいると思う」と肯定的に回答している。

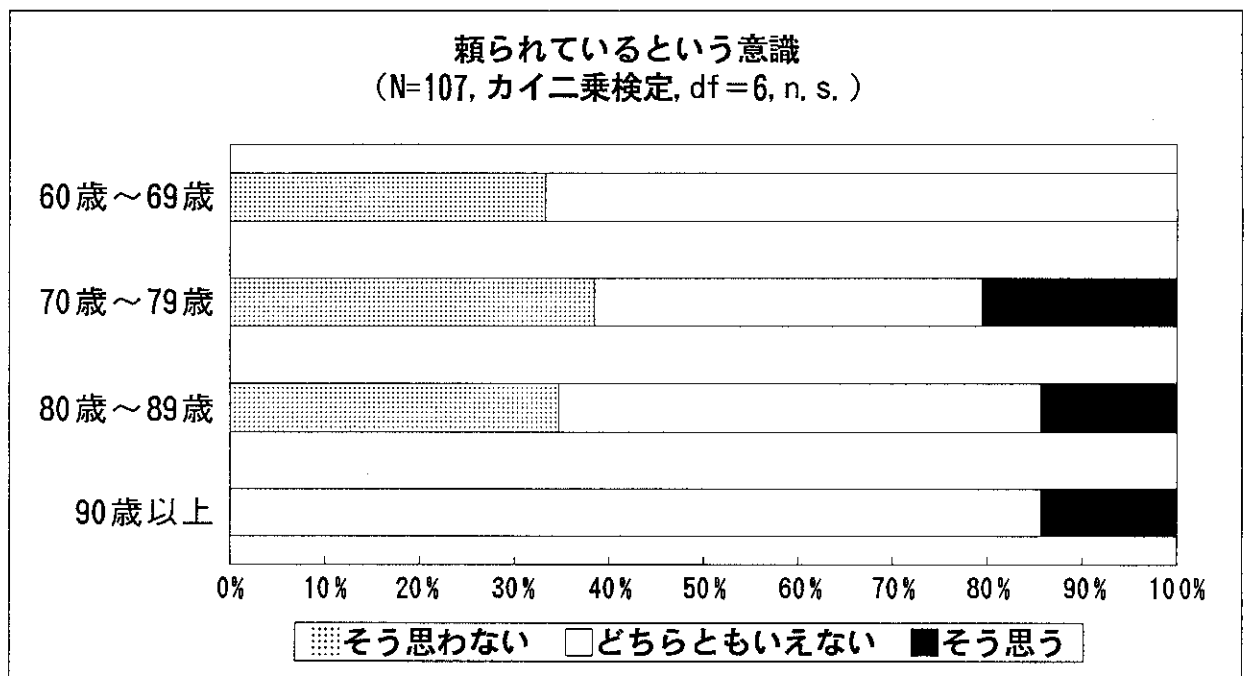


### H-13 頼られているという意識

「あなたはまわりの人から頼りにされていると思いますか」という質問に対して、「そう思わない」「どちらともいえない」「そう思う」の3段階の回答選択肢を用意し、入居者に尋ねた。その結果、「どちらともいえない」が51.4%で最も多く、次に「そう思わない」が33.6%、「そう思う」が15.0%であった。

年齢階層別に入居者をみると、図のように、60～69歳では、「どちらともいえない」と回答した入居者が66.7%を占め、次に「そう思わない」が33.3%、「そう思う」が0%であった。70～79歳では、「どちらともいえない」と回答した入居者が41.0%を占め、次に「そう思わない」が38.5%、「そう思う」が20.5%であった。80～89歳では、「どちらともいえない」と回答した入居者が51.0%を占め、次に「そう思わない」が34.7%、「そう思う」が14.3%であった。90歳以上では、「どちらともいえない」と回答した入居者が85.7%を占め、次に「そう思う」が14.3%、「そう思わない」が0%であった。

頼られているという意識について、各年齢層とも「どちらともいえない」と回答する入居者が最も多く、「まわりの人から頼りにされていると思う」と回答する入居者は、80～89歳と90歳以上では1割程度、70～79歳では2割程度となっている。

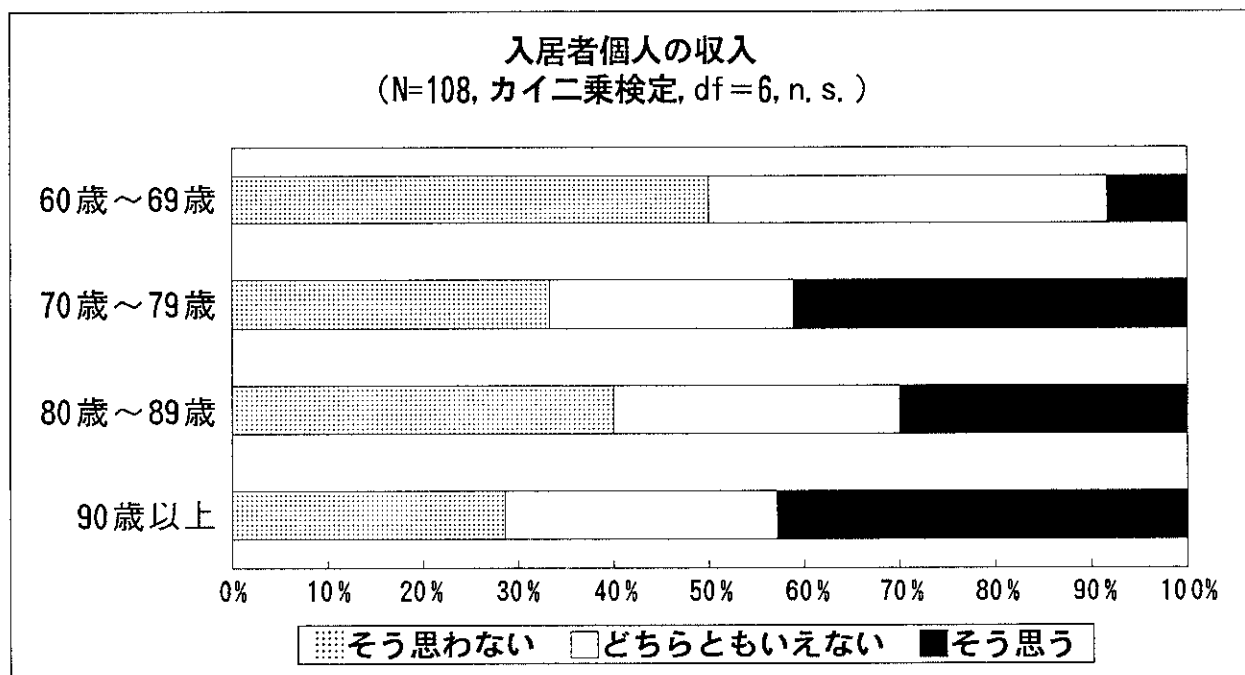


## H-14 入居者個人の収入

「あなたの現在の収入は生活をするのに十分だと思いますか」という質問に対して、「そう思わない」「どちらともいえない」「そう思う」の3段階の回答選択肢を用意し、入居者に尋ねた。その結果、「そう思わない」が38.0%で最も多く、次に「そう思う」が32.4%、「どちらともいえない」が29.6%であった。

年齢階層別に入居者をみると、図のように、60～69歳では、「そう思わない」と回答した入居者が50.0%を占め、次に「どちらともいえない」が41.7%、「そう思う」が8.3%であった。70～79歳では、「そう思う」と回答した入居者が41.0%を占め、次に「そう思わない」が33.3%、「どちらともいえない」が25.6%であった。80～89歳では、「そう思わない」と回答した入居者が40.0%を占め、次に「そう思う」と「どちらともいえない」がそれぞれ30.0%であった。90歳以上では、「そう思う」と回答した入居者が42.9%を占め、次に「どちらともいえない」と「そう思わない」がそれぞれ28.6%であった。

入居者個人の収入について、80～89歳では4割、60～69歳では5割の入居者が、「現在の収入は生活をするのに十分だと思わない」と回答しているのに対し、70～79歳と90歳以上では4割以上の入居者が、「現在の収入は生活をするのに十分だと思う」と回答している。



## H-15 自由に使えるお金

「あなたが自由に使えるお金は十分にあると思いますか」という質問について、「そう思わない」「どちらともいえない」「そう思う」の3段階の回答選択肢を用意し、入居者に尋ねた。その結果、「そう思わない」が47.2%で最も多く、次に「そう思う」が29.6%、「どちらともいえない」が23.1%であった。

年齢階層別に入居者をみると、図のように、60～69歳では、「そう思わない」と回答した入居者が58.3%を占め、次に「どちらともいえない」が33.3%、「そう思う」が8.3%であった。70～79歳では、「そう思わない」と回答した入居者が43.6%を占め、次に「そう思う」が33.3%、「どちらともいえない」が23.1%であった。80～89歳では、「そう思わない」と回答した入居者が50.0%を占め、次に「そう思う」が30.0%、「どちらともいえない」が20.0%であった。90歳以上では、「そう思う」と回答した入居者が42.9%を占め、次に「どちらともいえない」と「そう思わない」がそれぞれ28.6%であった。

自由に使えるお金について、70～79歳では4割以上、60～69歳と80～89歳では5割以上の入居者が「自由に使えるお金は十分にあると思わない」と回答しているのに対し、90歳以上では4割以上が「自由に使えるお金は十分にあると思う」と回答している。

